

『なんのきざしもない』

仲
悟
志

登場人物

女1 占い師

女2 霊能者 1と2は同学年の幼馴染、1と3は大学の同級生

女3 小説家

一軒家に三人の女が住んでいる。

この家は、占い師を仕事にしている女1が、祖父から引き継いだ平屋の一軒家。

女1と女2は地元が同じで、幼稚園の頃からの幼馴染。

女2には、霊能力があるものの、体が弱く、あまり活発に外に出たりできない。

ある出来事があり、当時は俳優をしていた女1が、女2を、2の実家から連れ出してこの家に連れてきて同居を始めた。

女3は、女1の大学時代からの友人で、小説家。

女1が、幼馴染の霊能者と同居を始めたと知って心配になり、この家におしかけてきた。

そんな三人ぐらしを始めて、かなりの時間が過ぎている。

ある日。三人が住む家の居間。

その部屋には座卓がある。やや奥に三人がけ程度の大きさのソファアーム。

この家に、それぞれの居室はあるものと思われる。

仮に、玄関、トイレへの出入りは同じ方向。台所と三人の居室に向かう場合の出入りが同じ方向と決めておく。

座卓を囲んで、三人の女が座っている。

座卓の上には小さなポットとそれぞれのマグカップとおやつらしきものはある。

1と3は外にも出られる様な服装だが、2はもともと部屋に居たらしい服装をしている。1の背後には1のカバンらしきものがある。3も、傍らにバッグを置いている。

1と2が対面しており、3が二人と直角の位置に座って、挟まれる形になっている。

様子としては、無言の1と2に3が挟まれる様なイメージ。

1と2の無言の時間。二人をを見比べる3。

3 ああ。

3が口を開くと、1がそっと3のマグカップにお茶をそそぐ。

3 白湯がいいな。

1 残念。

3 うん。

1 大丈夫？

2 ……。

1 ねえ。もう、熱とか出てるんじゃない？

2 多分。

- 1 もう休んだら。
- 3 ああ、それがいいね。
- 2 聞いておきたい。
- 1 そんなことはいいじゃない。
- 2 よくない。
- 1 熱、久しぶりだよ。
- 3 去年は無かったよね。
- 2 明らかに、さっきのアレが、どうかしてる感じだから、これから遠ざかれば大丈夫。
- 1 それ。それが、大丈夫じゃないんですよ。
- 3 そのアレは何かこう……。どんなつもりがあるとか、なんだかわかる？
- 2 そこまでじゃない。
- 3 ううん。
- 2 ただ触ったというか、ああでも、こっちに……。
- 1 ……。
- 2 (ため息) ……。
- 1 休もう。氷枕でも出そう。
- 2 聞いておきたい。
- 3 何を、
- 1 何もない。
- 3 お、
- 2 聞いておくべきだった。
- 1 そうかな。
- 2 ずるかった。
- 1 え、
- 2 自分が。
- 1 謎だ、謎。
- 3 なに、
- 1 なにもなにも、一緒に住んで何年経ちますか。

- 3 だいぶ経った。当時は若かったねえ。
- 1 全体的に無駄でしょ。ひどくなる前に休みなよ。
- 2 これだって、身から出た錆だ。
- 1 出てない。私の見立て違い。油断した。
- 3 さっきのアレのやつね。
- 1 うん。
- 3 やばいって、そもそもどんな感じなの？
- 1 や、
- 2 わからない。
- 3 え、あ、そんなに？見るよ。

3、1のカバンににじり寄る。

- 3 (2に) あ、大丈夫？
- 2 うん。
- 3 見して、
- 1 見たって、
- 3 わかんないけど。

1、カバンの中から封筒を取り出し、3に渡す。

- 3 ほう。どれがやばいの。
- 1 二通目が変わったけど、
- 2 五通目も気になる……。
- 3 (封筒を1に返す) 仏滅三隣亡か。
- 1 (3から封筒を受取る) うん。(封筒をカバンに戻し、2に) ごめん。
- 2 あやまらなくても、
- 1 役割分担でしょ、
- 3 うん。

- 2 いや、そもそも熱出してる場合じゃない。
- 1 出るよ。
- 2 久しぶり。
- 1 ごめん。油断した。
- 2 (ごめんに即反応して) いいんだって、それよりも、
- 1 それも、
- 3 そもそもなに。

問。

- 3 そもそもなんの話し。
- 2 あ、そういえば、デートは。
- 3 打ち合わせね。
- 2 打ち合わせ。
- 3 さっきは、何が見えてた？
- 2 いや、ストップ感?……あと、火の気かな?そんな感じのイメージだけ。
- 3 なる。
- 2 え、
- 3 なんでもなかったよ。ストップは、店だね。
- 1 え?
- 3 厨房でボヤがあって、打ち合わせの場所が個室インド料理から、喫茶店になって、
- 1 おお。
- 3 打ち合わせして、解散。今。……ただいま。
- 1 おかえり。
- 2 おかえり。
- 1 デートは?
- 3 うん?……うん。流れで。今。……ただいま。
- 1 おかえり。

- 2 おかえり。
- 3 うん。

間。

- 1 休もう。
- 2 (1とほぼ同時に) ずっとうまく言えなかったんだけど、なんと
いうか、
- 1 ねえ。
- 2 うん。
- 1 大丈夫。

2、座卓から離れる。ひよっとしたら、立つかもしれない。

- 2 油断していたのは私で、多分、ずっと熱を出したり寝込んだりを
当たり前にして、
- 1 そのレベルからか。
- 2 だって、
- 1 その解決策があるとしたら、
- 3 (解決策と耳にし、咳払いをして1を止める) 占い師を辞めるか、
霊能力をなんとかする方法を教えてください人を探すか。
- 2 (霊能力をなんとかしたい) うん。
- 1 難易度高いよ。両方。ああ、まあ、私が仕事を探す分には、大丈
夫だけど、
- 2 (1が仕事を探すことはできるといふのは同意) そこ。
- 1 ん？

3 が口を挟んだことは、失敗だっただろうか。

- 2 負担をかけている。
- 1 それは、

- 2 私も稼がねば、
 - 1 だから占い師してるんじゃないか。
 - 2 そうだけど、
 - 1 最強コンビじゃないか。
 - 3 まあ、そうだよな。
 - 1 二人分以上だよ。
 - 3 なかなかない。
 - 2 ぶら下がってるだけだ。
 - 1 ぶら下がってるのは、私だ。逆立ちしたって、霊能力なんかない。
 - 3 こればっかりはね。
 - 2 依存してる。
 - 1 これが依存なら、私達二人で、君とだけ不幸で居れたらって、
 - 3 共依存ね。ちょっと待った。いい？
 - 2 はい。
 - 3 無駄にダメージの大きい話しにならないだろうか。
 - 2 えっ、
 - 1 (ため息) ……。
 - 3 うん。
 - 2 誰の。
 - 3 みんな。
 - 1 うん。
 - 2 どうして？
 - 3 おう。うん。(2に) なんとというかね、お互いに離れがたく依存し合っている関係を、共依存というのだ。
 - 2 (実は共依存がピンときていない) はい。
 - 3 (2のピンときていなさがる) はい。ううん。そうさなあ…
- ∴。我々は、いい感じの年齢の独身女性三人で、一緒に暮らしておる
だろ。
- 2 うん。
 - 3 水回りの掃除とか、任せっきり。

- 1 玄関も庭も、全部だ。
- 2 私は他にできる事がないし、掃除して、環境が綺麗なら、ややこしいこともないから。
- 3 神社か。
- 2 でも、
- 3 なんて便利なもの。当番制にしてもいいんだよ。
- 2 二人は仕事してるでしょ。それに、掃除はやっぱり自衛策、
- 3 家事労働だよ。どれだけありがたいかってことですよ。炊いたご飯が常にあるんですよ。適切なタイミングで、おにぎりになっていたりも、
- 1 帰ってきたらなんか食べられるよね。
- 2 様子はわかるから。
- 3 便利か。世話女房か。
- 2 いや……。
- 3 ちょっと頭が整理できない時に、すっと、なんか言ってくれるのも、すごく助かる。
- 2 ありがとう。
- 3 一家に一人霊能者が居たら、こんなに便利なもの？
- 2 あれ……。でもほら、洗濯は各自でやるよね、
- 1 いや、
- 3 当たり前だ。この上洗濯なんて、
- 2 ずっと言ってるけど、
- 3 ダメダメ。
- 1 ダメ。
- 2 うん。でも、掃除のうちかなあとか、思ったり、
- 3 違うね、さらに私を依存させようという邪悪な企みですよ。
- 2 邪悪。
- 3 依存してしまうわけ。十分に。でも、それはつまり、役に立って
くれているんだ。ギャラも無しで。

- 2 取材の話しとか、いろいろ聞けるし、おかげで本とかいっぱい読めるし、
- 3 守護神。
- 2 オーバーな。
- 3 私ですらそうだってこと。あんたたちは、仕事のパートナーでしょ。二人でやってるんだから、チームが補い合うことを、ぶら下がってるとか言っちゃダメだ。それは、ろくな話しになるわけがない。
- 1 うん。
- 2 進歩がない。一緒に住み始める前から、私はこれっぽっちも、
- 1 そんな。
- 3 スーパー霊能者じゃん。
- 2 体調が、ほら、いろいろそういうのを取材した時に、教えてくれたよね。
- 3 ああ。
- 1 修行？
- 3 あれもなあ……。
- 2 少なくとも、体調が不安定になるとか、少なくなるのでは、
- 3 それは……。あの仕事の編集部に聞いてみられなくはない……。
- 1 でも、可能性だよな。
- 2 なにもしないよりは、
- 1 うん。
- 3 あの仕事の時さ……。 ああ、こう……。 私の顔を見るなり、ちらっと表情が変わった人たちは、みんなだいたい、いろいろ時期があるみたいな事を言ったよ。まさか、家に霊能者が居ますとも言えないけど、ああ、そんな意味ではあの時も便利でした。この人はあんたの気配に気づいた。この人は気づかない。ふふ……。 ありや……。 いやあ、ギョラ渡してないの、ダメだわ私。
- 2 ああ、とんでもない。
- 3 時期は来る。そのうち。
- 2 今かも、

- 1 や、
- 3 あの時も言ったけど、なんかそんな感じでもなかったでしょ。
- 2 自分からというよりは、発見されるって、
- 1 うん。
- 3 そう。
- 2 でも。
- 1 私は、あの話しはちょっと安心した。

問。

- 1 それでこうだ。まるっきり依存だ。
- 3 いや、だから。
- 1 そうでしょ。
- 3 占い師。
- 1 はい。
- 3 社会との接点が君の役割ね。
- 1 うん。
- 3 霊能者。
- 2 はい。
- 3 いろいろとややこしいことだけど、あなたは、いろいろといろんなことがわかる。
- 2 うん。
- 3 そういうコンビで仕事をしてるんですよ。一度目はお伺いを建てて、二回目に凄い返事が来る抜群の占い師とか、普通に考えたらさ…
- …。
- 1 ん？
- 3 いや、クオリティが高かったとしてもね、二回足を運ばせるまだるっこしさで、普通以上に営業できてるって、やっぱり凄いと思うよ。…あ、そう思ったら、やっぱり私がこうも完璧な家事のお世話になっっているのはおかしい…。

- 2 それは、
- 3 ああ、ごめん。
- 1 や、ほら、ややこしい時のまとめとか、
- 3 あ、うん。
- 2 そもそも、言葉じゃないから、まとまらない時は、助かる、
- 3 おう、うん。
- 1 プロだしね。
- 3 作家ですから。一応。
- 2 うん。

問。

- 3 (ため息) ね。こんな状態で共依存とか言い出したら、話がどっちに行こうが全く入ってこないか、ダメージ食らうのか、
- 2 ううん。
- 3 言葉がピンとこないのは、幸せなことだね……。ああ、ちょっと着替えてくる。待ってて。(1に) 着替えないの？
- 1 あ、まあ、
- 3 ちゃんと聞くから。
- 3、そそくさと退場。

- 2 いれなおす。
- 1 あ、うん。

2、卓上のお盆などを持って退場。

1、二人の去った方を、心もとなげに見る。

着替えのために立つように見える動きをするかもしれないが、この部屋から退場することはない。

- 1 ほんの、これだけの隙間でも……。

ゆっくりと辺りを眺める。

1、うなだれてぼつりとする。

1 どうして不安になる。

1、2と3がなかなか戻ってこない気がするのはどうしてだろうか
と、そんなことでも考えるだろうか。

1 理由は、ある。

1、二人が戻ってくるのを待つが、2も3も、戻らない。

1 ほら。こうしていると、自分が一人だけでここに居るんだったら
どうしようとか、思うじゃないか。

1、不安げに二人が去った方向を見て、座りなおす。

3、部屋着に着替えて戻ってくる。

3 よし、最初から聞こう。あれ？

1 あ、お茶とか、

3 うん。

1 今日は、ちょっと早めに戻ったじゃない。

3 ああ、そうだね。

1 予約もあったし、朝からトントンとお客さんが来たから、

3 うん。

1 帰ってきて、それで丁度、今みたいに、お茶とか。

3 そっか。

1 うん。そんな感じだったから、とりあえず、ここで待ってた。

3 うん。

1 で、まあ、いつもの感じというか……。

2 が、コップ、水、湯呑、ポット、小さめのおにぎりを盆に乗せる
などして運んでくる。

このおにぎりは、根を詰めて原稿を書いている3が、おもわずつま
んで食べられる大きさ。

1 ただいま。

2 おかえり。

1 おにぎり？

2 うん。

1 昼？

2 いや、

1 夕飯は？

2 この後。

1 ん？

2 作るよ。

1 うん。

2 ん？ああ、

1 ああ。

2 うん。

微かに水洗トイレの水を流す音。

3 ああ、そうか。で、私がトイレから出てくる。

1 うん。

3、この話の時点の自分の様子に合流していく。

2 手は洗った？

3 洗った。顔も洗った。

2 うん。水とか、白湯とか、

- 3 ああ、
- 1 寝てないのか。
- 3 寝た。多分三時間は寝た。
- 1 おお。
- 3 もうちょっと、
- 1 ああ。
- 2 おにぎりも、
- 3 水。
- 2 うん。
- 3 いや、白湯？
- 2 うん。
- 3 水。
- 1 うん。
- 3 ああ、うん。ちょっと待って、最後、どう引っ張るか、
- 1 ああ。
- 3 決着付けて送ったら、夜だけど、打ち合わせ……。
- 2 おお。
- 3 (ガッツポーズ) うん。
- 1 マジか。
- 3 休んだほうがいい感じになるのか、このまま乗り切った勢いで、知る限りのテクニクを駆使して色々仕上げるのか……。
- 2 休む。
- 3 休む。そっちなか。
- 1 どうか。
- 3 ん？
- 1 今はもう(肌感の)マットな仕上がりが完璧な仕上がりになんてのは、流行らないですよ。どこまでも素肌感を感じさせながら、ポイントだけはきっちり抑えていくのが本質。
- 3 本質。
- 1 よそ行きなんて感覚はもう死滅して久しいんで、

- 3 本当？
- 1 ほぼ。
- 3 おお。この、私の気合の落とし所は、
- 2 原稿に？
- 3 なるほど。気合は原稿に、メイクは、
- 1 ありのままに。
- 3 む。
- 2 ん？
- 3 流石に疲れたままはどうなの？
- 1 少し休んだところで、修復不可能なほころびに手を加えて、一体何を取り繕うつもりなんだ。
- 3 おお。
- 1 イタリアンか。
- 3 いや、インド料理、
- 1 スパイスか。ナチュラルで行け。ナチュラルで。
- 3 いいんですか。隠れ家的で、個室な感じらしいんですよ。
- 2 へえ。
- 1 それは凄いね。
- 3 うん。
- 1 だが、基本は同じだ。大きな隙を細部に抱えたまま、相手と対面することになるくらいなら、ありのままをきちんと攻めていますというコンセプトでイニシアチブを取るんだ。流石にひと仕事終わった後だけど、背筋はのびて居ますがなにか？と。大人にだけ許された深い文脈。
- 3 そこか。
- 1 そこだ。
- 3 なんだかしかし、勇気が要るね。
- 1 花で飾るな。君自身が花だ。
- 2 おお。
- 3 煽るなあ。

2 おにぎりもどろろ？

3 ああ、ずっと何も食べてなかった。

2 うん。

3 いや、でも、今脳に思考以外の刺激を与えてはならん。水だね。

2 うん。

2、コップに水を入れて3に渡す。

3 ありがとう。うん。

問。

2 あ、ええとね、

3 いや、待った。大丈夫。どうするかは決めてるから。

2 うん。

3 うん。よし。(ガッツポーズ)

1、2も、3にガッツポーズを返す。

3 で、私は部屋に帰った。

1 うん。

3、二人の様子を見る。

1 締切か。

2 その後デート。

1 うん。ああ。白湯。白湯飲む。

2 お茶にしない？

1 いや、白湯が落ち着くらしいじゃない。

2 ほう。

1 うん。

1、退場し、ほどなくして湯呑を持って登場。
座って、ポットから白湯を湯呑に注ぎ、飲む。

1 はあ。ああ。

2 お疲れ様。

1 うん。いやあ。どうしよう。

2 ああ。

1 明日かな。

2 いや、一息ついたらやっとこうか。

1 そう？

2 うん。

1 ごめん。

2 大丈夫。

間。

1 まあ、今週はそんなに……。

2 うん。

1、白湯を飲みほして、カバンの中か五通の白封筒を取り出す。

2 五通ね。

1 うん。大丈夫？

2 ぱっと見たところは……。

1 うん。じゃあ……。

1、テーブルに封筒を並べる。

2 うん。

1 あ、メモ。メモメモ。

- 2 はいはい。
- 1 お待ちください。

1、カバンからノートとボールペンとボイスレコーダーを出す。

1 わかんなかったら、明日手伝ってもらおう。

2 そうだね。

3 これだよ。急がなくても良かったんじゃ、

1 うん。結果的に……。

3 ふうん。

1、ボイスレコーダーを準備して、ノートを開いてメモの準備。

2、テーブルの上を眺める。

2 ええと、これ。

2 が封筒を指差す。

1 はいはい。

1、封筒を開いて中を確認して、メモを始める。

1 ちょっと待ってね。……うん。どうぞ。

2 西。とりあえず西。いや、西は確定というか、会いたいって言っても、もう会ってるのか。……でも、言うほど本人は本気じゃないし、ううん。会う……。この先実際どうしたいかも、ふわってしてるのに、なんだ……。迷いは……。なんでこんなに迷う？

1 自信が無いんだって、

2 ん？自信かなあ。

1 おお。普通にかわいい娘さんだったよ。

2 はて。自信っていうか、自信が無いのは嘘だね。

1 おっと。
2 会いたい相手が、そもそも、ううん。

1 うん。
2 いや、男は居る。向こうにも女が居る。

1 マジか。
2 ああ、ダメだ。男を変えてステップアップできたらいいなあぐら
いにしか思っていないよ。そもそも、ステップアップできるかが不安で、
そこは、自信が無いんだ。

1 そっちか。
3 ははは。

2 乗り換えには成功すると思ってるね。長続きするかが不安なのか。
1 どうしよう。

2 相性は悪いというか、向こうの方が上手？

1 放っておく？
2 ターゲットなのかな。ううん。

1 伝えるとしたら、「長続きするかはさておき、思った通りになる
よ」からいくか、「迷いは、身の程を知れて自分からのメッセージ
じゃない？」って感じから入るか。

2 任す。
3 うん。

1 はい。じゃあ、次。
2 うん。

2、再び机の上の封筒を眺める。

2 これ。

2が封筒を指差す。

1 はい。

1 が封筒を手に取り、封を開いてメモを始める。

1 うん。どうぞ。

2 これは、あれ？おじさん？おじさんは、これは誰？

1 おじさんだったよ。

2 ああ、そうか。じゃあ、これは……。これは、住んでるところの何かだ。

1 あれ。ダメな感じ？

2 いやあ、でも、これの話しなの？

1 全然。

2 おお。平気なのかもしれないけど、おじさん自身の影が謎のレベルで怪しいんだけど、

1 不味い？

2 いやあ……。変なだけ。

1 ほう。

2 影響出てない……。そんなわけではないと思うんだけど、なんでだろう。わかんない。

1 うん。

2 ううん。

1 どうしよう。

2 ひとくくりがダメか。何を。ん？

1 ん？

2 ひとくくりには？

1 ひとくくりか……。ううん。

2 必ずしも……。いや、どうしたもんだろう。

1 うん。

2 お酒は控えた方が良いね。他はどうなんだ……。

間。

2 いやあ、よくわからない。

1 おお。

3 そんなにまずい感じでもなくない？

2 ……ううん。まずいというか、なんだこりゃ。……ううん。……
ええっと、おじさん、これは一体……。

間。

1 深追いは、

2 そうだね。保留で。

1 うん。

3 うん。

2、少し放心気味の長い間。

2は少しぐったりと疲れた感じに見える。

1 休んどごうか。

2 ああ、ううん。

1 うん。なんかあったら困る。

3 前のは、もつとがつんときたよね。

2 ただ、どうなんだろう。

1 ほら、

2 あ、

1 深追い。

3 ううん。

2 そうだね。

1 (封筒をカバンに入れる) 片付けておく。

2 すいません。

1 ううん。古今東西、

- 2 ああ、（古今東西を始めるのは無理だという態度）
1 もう離れられないのか。
2 難しいかも、
1 完全に引っ張られたね。
2 そうかも。
3 おお。徐々にきたのか。
2 うん。

問。

- 2 不覚じゃ。
1 白湯でも？
2 お願いします。

2、お湯を注ぎ1に渡す。

- 1 はい。
2 ありがとう。

2、白湯をすするところに、1がすかさず、

- 1 うさぎ。
2 ぎんざ。
1 座頭市。
2 ちまき。
1 奇想天外。
2 板わさ。

更に超高速でひとしきりしりとり。

- 2 ……大丈夫。気はそれた（ため息）。

1 うん。

問。

2、白湯をすすり、改めて大きくため息をつく。

2 ごめん。

1 何いってんの。……ごめん。……（3に）で、この辺で原稿ができた感じ。

3 ナルホド。

3が、再び当時の自分に合流していく。

3 できたよー！

2 おお。

1 よかった。

3 おや。

問。

3 こっちは加速しているのに、ずいぶんダメな感じじゃないか。

2 うん。

1 うん。

3 なんか踏んだ？

1と2、二人の思いと同じく音と思考が輻輳していく。

2 そんな感じなんだけど、

1 ごめん。怪しいと思わなかった。

3 え、大丈夫？

2 大丈夫。ごめんも無いから、

1 いやあ、

2 謎なだけ。あんまり具体性が、
1 どうもなあ。

2 いやいや、わかんないって。

3 (二人に反応しきれず)へえ。

1 何年やってるんだと、

3 (1と同時に)いやいや、具体性。

1 (具体性に反応して)具体性。

2 おお。そもそも、具体性など、

3 そういうことじゃなくて、

2 じゃないか。

3 うわ、具体性は今、どっちに流れた？

1 流れた。

2 (1と同時に)謎。

3 (両方の手でそれぞれを指差しかけて、差し切らない)……違っ
てもいないけど、流れた。

2 え、

3 (両手をひらひらさせて)整理している時間はないな。私、外出
しなければならぬ用事がありますので。

2 そうでした。

2、ふと咳払いをし、少しの間を置いて白湯をすすって、

2 ええっと、

3 みなまで言うな、カツサンドラ。

2 お見通しで、

3 間違いなく作家ですから。

2 先生の洞察力、

3 ああ、でもカサンドラは縁起悪いね。

1 確かに。

3 ごめんごめん。だが、何がどうしたか、それが伝えたい感じの事なのも含めて、

1 先回りするよね。

2 ん。

3 同居して何年よ。慣れました。(2に) もう君の何処を押せば何処が引っ込むかだって知ってる。

2 嘘。

3 息を呑む瞬間なら、

2 え。

1 素直に聞けばいいじゃない。

3 対策できそうなことならいいけど、できなそうなことだったら、それに振り回されるでしょ。

2 おお。

1 そこなあ。

3 言いたげになるってだけでも、警告あるんだなあと、

2 ごめん。警告っていうか、

3 大丈夫。気配だけで十分ってこと。

1 役立つよ。

3 はめていければ？使えれば？

2 はめていくか。

3 でも、凄いつてことだよ。

2 ううん。

3 それはさておき、続きをやるんなら、二人じゃない方が良くない？何件終わったの？

1 一件。あと四件。

3 二件目で微妙なことになってるとは、

1 目が節穴で、

3 明日、手伝うよ。他もややこしいこともないでしょ？

1 ありがとう。

2 (1と同時に) ごめんね。

3 大丈夫。体調崩さない程度に断片拾ってもらったら、多少とっちらかってようが、いくらでもまとめるから。

2 うん。

1 よろしくおねがいます。

3 まあ、今日は適当に夕飯でも食って落ち着き給え。そんなわけで、私身支度を、

1 おお、お役に立てることがあらば、

3 うん。力加減をですね。ぜひに、

1 お安い御用で。

3 いいのだろうか。

2 なに。

3 気合いが漏れて出るだけで、十分に邪。

1 邪の何が悪い。

3 あの、でもそんな、

1 自分の邪さについて、広く世に問うてみたことはあるわけ？

3 いやあ、

2 悪者が活躍する作風でした？

- 3 いえ、滅相もない。
- 1 邪悪だ邪だは、マクベス夫人ぐらいにでもなってから、
- 3 良心の呵責に耐えかねてなかったですか。
- 1 はい。
- 3 マクベス夫人。
- 1 そこでインテリジェンスを出すか、
- 2 ああ。
- 3 う。力加減……。
- 1 大丈夫。まあ、とにかく身支度をだね、
- 3 はい。

問。

3 うん。で、私が意気揚々と着替えて出て行って、打ち合わせをしている間に、どんよりしたわけですね。

1、2それぞれに肯定の返事。

- 3 うん。経過はさておき……。 (2に) 一連の流れの果てに、何が聞きたかった？
- 1 はしよるの。
- 3 見てるし。
- 2 聞いておきたい。
- 3 うん。事が進んで、君がそう口走った瞬間に、私も居合わせた。

問。

2 さっきの封筒のやつは、今もまだ抜けきってなくて、不思議な感じで、多分寝込みそうなんだけど、これは初めてな感じで、こんなこともあるんだって。なんか、そう思ったら、本当に二人のおかげで、

ずっと隠れていられるというか、匿ってもらってるだけで、私はこれっぽっちもちゃんとしてない。

1 ちゃんとして、

2 初対面？

3 (思わず吹き出して) 初対面。

2 なんだろう。

3 ああ、うん。

2 初めてのタイプというか、

3 あるある。今でも会う。

1 会うよ。

3 居るよね。珍しいタイプ。

1 初めてのタイプ。

3 普通だ。

2 そういえば、打ち合わせから、デートにしても、

3 脈絡がないぞ。

2 ストップは店の感じだったかもしれない。

3 喫茶店になった段階でストップじゃない？

2 深読み……。

3 む。

2 喫茶店のストップは後付け。

3 あ、え、

2 店。ううん。

3 いや、ちょっと待った。脈絡は。

2 珍しいタイプだと思ったよね。

3 そうつながるか。

2 珍しかった？

3 いや、まあでも、インド料理。

2 それは店。

3 おお。

1 シークカバブとビール？

- 3 ビールはあった。
- 2 軌道修正は、ううん。
- 3 ん？
- 2 軌道修正したつもりも無いかもしれない。
- 3 だって、喫茶店ですよ。
- 1 あ、打ち合わせしてから、仕切り直し。
- 2 そっち。
- 3 お？おっと。
- 1 さっと終わらせて、
- 3 さっと終わらせてしまった。私が。
- 1 居酒屋を探すとか、
- 3 言われてない。
- 1 言わせなかったかも、
- 3 う。
- 2 うん。変わったタイプだったのかな。
- 3 空回りしたとか、そういうこと？
- 1 細かいことはさておき、まあ、また会うよね。
- 2 うん。
- 3 うん。ちょっと待った。話を戻そう。というかね。熱は？大丈夫？
- 2 結構しんどい。じわじわ圧がくる。
- 3 休もうよ。ああ。離れなきゃ無駄か。
- 2 うん。
- 1 用心できてるつもりっていうか……。ダメだ。わかりもしないのに、防げてるつもりだった。
- 2 わからないよ。私にもわからない。
- 3 用心が、そもそもね。
- 1 そもそも相手は人間じゃないし、ただの法則みたいなものかもしれないし、計り知れない。
- 2 うん。

3 ね。ああ、それでまたこう……。修行とか、できるんじゃないかって？

2 うん。ずっと進歩してない。それこそ、子供のときから、何かにひっぱられちゃ熱を出して、

1 しょうがないでしょ。

2 家にも居られなかったのに、ここで、二人のおかげで楽しく暮らしてる。

1 ダメか。

2 ダメじゃない。

3 いいよね。

2 そのダメじゃなさは、作ってもらっているもので、私は何をしているんだろう。別に、強くなったとかじゃない。最近は、しんどい感じのものに引っ張られることがなかっただけで、それも、自分でなんとかしてそんな風になってるわけじゃない。

問。

3 幼馴染の霊能者と暮らすって聞いた時には、なんの話だと思ったけど。

問。

3 最初は心配で押しかけた。わかってたでしょ。

2 うん。

3 おかげで世界が変わるよね。

2 ごめん。

3 いや、なんだろうね。理由を求めてもどうにもならないとか、うん。

2 初対面？

3 ははは。

1 はは。

問。

1 ここで暮らし始めた時の話しなら、もうお腹いっぱい。

問。

1 その辺まで遡る話しになってる。

2 私が隠れて暮らしているって話で、別に、遡らなくても、現在進行形でも、

1 このままで助かってる。

2 うん。

1 流石に、占い師なのに、なんにもできないままだと困るから、九星気学は、勉強した。

3 そうだね。

2 うん。

1 でも、それで私が九星占いだって看板にしても、やっぱり今二人でやってるクオリティに届くかとか、それ以前のことですよ。

2 ああ、まあ。

1 私がんばったけど、あなたには、なるほどって感じだったよね。

2 ん？

1 九星。

2 ううん？そうかな。

1 そうかなくて、

2 あ、うん。なんかふわっと受け入れやすかった。易より、なんか馴染むなあって感じ。

1 そのふわっとが私にはない。永遠にわからない。

2 ああ、でも、そんなにちゃんとは、

3 だから、さっき言った様に、その辺はね。

- 1 うん。
- 3 あれでしょ？九星は、あの……。ごちやまぜのオカルト仕事の時の、
- 1 うん。
- 3 おお。
- 1 紹介してくれたし。
- 3 そうだね。ああ、そうか。
- 1 習ってた。
- 3 うん。

問。

- 1 先生は、本当は、私を通してなんとなく存在を感じているあなたに、占いを教えているんじゃないだろうか。
- 2 そんな。
- 3 え、先生はそっち側とは思わなかったよ。
- 1 私にも、本当のところはわからないけど、
- 3 そんな感じ？
- 1 私が雑談で何か話したのかもしれないし、先生も、改めてどうこうは言わないけど、
- 3 気のせいってことでいいんじゃないだろうか。
- 1 (2に) 見えたね。
- 2 (やや項垂れて、両手で顔をおおう) ……。
- 3 ああ、
- 2 あなたから、流れてきた。
- 1 そうか。
- 2 ええと、
- 1 言わなくていい。
- 2 うん。
- 1 ああ、でも、ごめん。

- 2 え、
- 1 いや、言わなくていいとか、
- 2 私も。

問。

1 ひよっとしたら、そのうち誰かが迎えに来て、何もかも変わるかもしれない女と、ここに居ることにメリットを見出しているけど、必ずしもここでなくてもいい女と、そんな三人ぐらし。

3 おう。

2 わからないよ。

1 でも、ちよつと複雑な顔をする人に、それとなく聞いたら、みんな同じ様なことを言うって、

3 それは、びっくりしたけどね。

1 そういうことだ。私は……。私はどうだろう。私は、二人と違って、ここからどこにもいけない。

3 あんたのじいちゃんの家ですし。

1 ……実際は、ばあちゃんの実家か。じいちゃんの仕事に便利だから、じいちゃんとはあちゃんが二人でここに住み始めただけで、二人が生きてる間に、この家に来たことなんてなかった。休みになったら、じいちゃんとはあちゃんが実家に帰ってきてた。

問。

1 ばあちゃんが死んで、じいちゃんが死んで、ここは解体することになって、馴染みのない家でも、いろいろ整理して、少しずつがらんとしていくと、やっぱり寂しかった。

3 じいちゃんとはあちゃんの痕跡でしょ。

1 それだけでもなかった。あの時は。

間。

1 ほんの二年ぐらい、昼メロの脇役でテレビに出ていたって、そう誰かの記憶に残るわけでもないし、次々と俳優の仕事があるわけでもない。ちよつと懐に余裕のあるうちに、演劇かと思って、タイミングが合わない。……うん。あの時はそんなタイミングだった。そんな時に連絡が入って、なにがあったのかと思えば、あの騒ぎだ。

2 だって、災害になって、人が死ぬとか、

1 止めようがないんだから、あんなことになる前に連絡しなさいよ。

2 人災だし、

1 余計ややこしい。

2 死ぬんだよ。死んだ。

1 死なない様にできたと思う？

2 わからない。

1 どうにもならない。ならなかった。

2 ならなかった。

1 うん。

2 それはでも、結果論で、

1 やり方はあったかもしれないけど、あの時、ああなったら、もうあそこからあなたを連れ出す意外にできることなんか、

2 そうだけど。

1 でも、

2 信じてもらう方法もなかったけど、でも、みんな、私のことを、ずっとなんか変だとか、おかしいって言い続けてたくせに、私が本当に口を開いた時には無視できるとか、

1 無視。

3 そんなもんだよ。

1 無視じゃない。攻撃でしょ。

2 (曖昧な音) ……。

1 変な噂が流れて、自分は寝込んで、

- 3 おお。
- 2 だって、祠も流されて、あそこにはまだちょっと何か残ってて、
- 1 ああ。
- 2 誰かのせいで流すのは、
- 1 違法な山の使い方をした業者が、そもそもさ、
- 2 それも、でも。

問。

- 2 そこが、私にもっと上手く説明できて、どうしたらいいのか、
もっとちゃんと説明できれば、
- 1 うん。
- 2 だめだってわかってても、だめさを誰にも伝えられない。
- 1 どう触っても、寝込むパターンだ。
- 3 なるほど。
- 2 役にたたない。
- 1 違うでしょ。
- 2 どうしたらいいんだろ。
- 3 難しいね。
- 1 うん。
- 2 難しいけど、
- 3 出来そうなことはやったんでしょ？
- 2 それでも、
- 3 防ぎたかったね。
- 2 うん。
- 1 うん。防げたら、よかったね。
- 2 うん。
- 1 (ため息) ……。
- 2 悔しい。
- 1 それは、

3 ああ、なんかそっか。あの事故か。

1 うん。

2 うん。

3 つながった。なんか、わかった。

1 うん。

3 言おうよ。というか、地元は大丈夫だったのか聞いたよね。

1 そうだっけ。

3 その時の話か。え、すぐに言おうよ。大変だったじゃないか。

1 大変というか、もういろんな大変さがあって、あの時は……。

問。

1 そうだね……。でも、あの時は……。あなたをあそこから引き離す理由にはなった。

問。

1 それで、どうなんだろう。本当は道連れにして、引き込んだだけかもしれない。私は、なんとなく役者の仕事が途切れて変な停滞のしかたで……。あの時付き合ってた彼氏が、

3 ああ、ははは。

1 (苦笑い) うん。結構いい感じのオーディションに通って、なんかギクシャクして……。

問。

1 私が爺ちゃんの家に住むって、手を上げて、解体して、更地にして売りに出すくらいなら、私が住む。あなたを連れてくる。で、二人で、なんかちょうどいいかなと思って、占い師を思いついた。

問。

- 1 役者を続けられなかったんだ。あなたを逃して、私もここに逃げ込んで……。
- 3 そんな風に言い換えても、
- 2 私は、ただ、助けられた。
- 1 逃げる口実を作っただけだったら、逃げ続ける、
- 3 できないよ。占い師。というか、占い出来ないのに、占い師になるうとか、
- 1 役者だから。
- 3 役者でしょ。でも、それだけで、ちょっと普通じゃない占い師には、なれないよ。
- 1 普通じゃないから。占いでできないから。
- 3 ガチ霊能者の代理人ですよ。
- 1 凄い霊能者が居るから。私はちょっと小手先で、
- 3 できないんだ。それができないんだ普通は。……そもそも普通の領域からは、確実に離れてるから。

問。

- 3 いや、あの……。この後に及んでも、私はオカルトとか霊能力とかを、理解とか把握とかはできない。でも、こうして一緒に居てさ、ただの本当ですよ。これ。ただ目の前で起こっている説明のつかないことを、いい加減な混ぜっ返し方するのはやめておこうとか、そのぐらいの態度にはなってる。
- 2 私が喋っても、ただの莫迦なことだけど、誰かがちゃんと役にたつって思ってくれて、
- 3 成り立ってるよ。
- 2 ずっと、難しいねって言いながら、友達だった。
- 1 うん。

2 本当かとか、嘘かとか、当たったとか外れたとか、言わない。私にそんなこと聞かない。

1 うん。

2 どうして？

1 え。

2 どうして、どこかに落ち着けようとか、思わないの？

1 うん。

2 あ、

1 ん？

2 わかんない。なんか、外れた。

3 外れた。

2 ええっと、熱出さなくていいかも。

1 どうした。

2 うん。ううん。

問。

2 祠？

1 ああ。

3 ん？

2 さっき、少し思い出したから？

1 ああ。お礼しなきゃね。

2 うん。

3 これだよ。

1 え？

3 お礼とか、するっと出るよね。

1 うん。

2 祠の、ほら。

3 ほらって。

2 思い出したら、向こうも？

- 1 神社に、お礼参りするみたいなの？
- 3 わからんわ。
- 1 ああ、うん。
- 3 地元に行ってくる？
- 1 あ、嫌だ。
- 3 はは。でも、するっと出る。
- 1 なんか、それは、
- 2 うん。
- 3 ええっと……。ああ、うん。ははは。上手く言えないな。
- 1 うん。……理解することでもないというか、私に、嘘だとか本当だとか、わからないだけで、じゃあ、騙そうとか、何かでどうこうしようとか、実際……。あなた自身が、どうやったら上手くやれるのか、わかってない。
- 2 ……うん。
- 1 体の弱い友達だ。幼稚園の時からずっとそうだ。
- 2 進歩がない。
- 1 要らん。

間。

- 1 進歩しなきゃ友達で居られないのか。
- 2 なんにも、
- 1 なんにもでも、
- 2 でも、
- 1 数えるところじゃない。
- 3 なんかほら、お互いがただの友達だったりとか、その時々やむにやまれずにやってることをさ……。ああ、むう。
- 1 ん？
- 3 居心地良く暮らせていただいて、申し訳ない。異物だ。私は。
- 2 そんなことないよ。

3 いや、うん。私はやっぱり、受け入れていないというか、吟味してるよ。……どうにかして説明できるんじゃないかと思いつながら一緒に居るのは、

2 そっちが普通だと思う。

3 普通では足りない気がするから、こうなるんだ。

問。

3 軽いな。ごめん。

1 ん？

3 いや、覚えてる？入学してすぐのガイダンスで、斜め前に座ってたあなたところに、消しゴムが転がって、

1 拾ったね。

3 気がつけば履修する授業も結構かぶってて、あれこれ学校では一緒に居るし、よく遊んだけど……。あなたは演劇もやってて、なんか着々と自分のやりたいことをやるじゃない。こりゃ私もがんばろうと思って、なんか、なんとか色々書いて暮らせる感じになって……。昼メロ、見てたよ。録画もした。DVDにして持ってる。今でも。

1 ちょ、

3 見られるよ。ところが、彼氏と別れて役者やめて、幼馴染と暮らすとか、なんだと思って遊びに行こうかっていえば、なんかはぐらかすし、

1 そうだっけ。

3 そうだった。……霊能者だとか聞き出すまで、結構苦労した。

1 ああ。

2 (曖昧な音) 小さい時からずっと、

1 説明してもね。

3 心配するのは、あの時はもう……。とにかく押しかけて、なんとかしようと思って、

2 怖い顔してたよ。

3 長期戦になったとしても、幸い私は原稿さえ書ければなんとかなる本当に、うん。……ここに押しかけてくるしかない。

2 うん。

3 悪の洗脳から大事な友達を救わなければ、

2 うん。……でも、テストとか、ほら、なんにもしなかったよね。

3 やりこめても意味ない。

2 ああ。

1 あれは、変だったね。

3 慎重に、値踏みしながら、

2 馴染んだね。

3 ……ああ、なんと恐ろしい。

2 え？

3 ううん。何を受け入れたのかな。

1 ああ。

3 価値観が変わるとか……。私は実際、何を受け入れたのか……。

1 普通。……吟味してるんでしょ？

2 そっちが普通。

3 書くと、否定的な言葉にしかない。自分を裏切りながら、でもこれは、あななたちを裏切ることもなると思いつながら……。

2 ん？

3 (2の理解が追いつかない様子を見て瞬時に) うん。……で、普通では足りない気がして、こうなってる。

問。

3 お前が言うなを、恐れずに言いますが。ああ……。ニュアンスが……。最初に言おうと思ってたのが、ええっと……。

1 (少しわらってしまう) ……。

2 うん。

3 ああ。ええ……。二人とも、自分の普通では、こう……。相手に
対して足りないと思ってる。……。うん。

2 三人とも。

1 なるほど。

3 うん。……。落ち着こう。

問。

3 おにぎりもそのままだし、ご飯も食べずに二人でぐずぐずしてい
たわけね。

1 そうだね。

3 まるで核心にも至らず。

1 まあね。

2 伝え方もよくわからないし、なんだかんだで引っ張られるし、

3 はは。特殊だな。

2 あ、あの封筒、もう一回、

1 え。

2 ひよっとしたら、なんかちょっと申し訳無いけど、大丈夫かも？

3 申し訳ない。

2 ああ、ええっと、ふと、つながったおかげというか、

3 つながる？

1 ああ、祠。

2 ん？……。うん。……。うん。祠の。多分そう。

3 便利だなあ。

1 それはそれで、大丈夫なのか。

2 え？

1 そこから、必要ない筈の影響が広がりとか、

2 大丈夫じゃないかなあ。ううん。間違いない祠の……。これが…

…。ずっとどうこうって感じもしないけど……。

1 いやあ、

2 ん？

1 慎重さとは。ね。

3 ああ？うん。わかんないけど。

2 そうかな。

3 良いも悪いも……。なんていうの？

1 影響？

2 ううん。影響ね。うん。

3 影響。

2 うん。

3 結構、毎度聞いてたけど、熱出て寝込むのと、こう、その……。
よし悪しは別。

2 別。……。悪い感じでぐったりするのは、厳しいかなあ。違う厳しさがある。

3 どのみち、片付けなきゃいけないだし、できそうならやるうよ。

1 明日にしない？お腹減ってない？

2 お腹は減った。でも、なんか、いつもやってることをやるう。

1 ……。

2 ね。

3 いつもとか。ははは。

2 うん(笑う)。

1、少し渋っている様子。軽くため息をついて、カバンから封筒を取り出し、占い終わっている一通は、カバンに戻し、四通を机にならべる。

1 危なかったら、

2 大丈夫。

3 危ないのは？

2 (指差して)これ。うん。おかしいっていうか、わかった。初めてな感じ。おじさん、二重だ。

- 3 二人？
- 2 二人は変……。
- 3 何かに取り憑かれてるの？
- 2 そうじゃなくて、ああ……。一緒に感じ。いや、仕組みはわからない。ああ？もつとか？
- 1 ほう。
- 3 二重。
- 2 もつと。いっぱい……。いっぱい？
- 3 おお。
- 2 ああ。ええ……。うん……。お酒は、神棚にでもあげたら、自分で飲まなくても大丈夫じゃないかな。
- 1 そっち？
- 2 お酒は控えられる。
- 3 そっちか。
- 2 それで、だいたいうまいかないかな。ひとりで十人力とか、そういう感じにもなるのかな……。
- 3 おお。
- 2 米とかもお供えしたらいいの……。いいのか？
- 1 ああ。
- 2 うん。おじさん、これ以上はちょっとなあ……。
- 1 おお。
- 2 うわあ……。うん。今の感じじゃないと、絶対寝込む……。触りたくない。
- 3 おお。
- 2 うん。それらしく、お願いします。
- 1 あ、録音とメモ。
- 3 おお、そうだ。
- 2 うん。

1、ボイスレコーダーとメモの準備。

以後、1は随時メモをとる。

3 それらしくって……。内容になりそうなものが、なんもないね。

1 相談する。

3 うん。

1 (スタンバイを終える) はい。

2 はい。

1 (2が見終わった封筒をカバンに戻す) ああ、これは、なんかそれらしくする。

2 うん。

1 じゃあ、次。

2 はい。

2、どれかの封筒に注目する。

2 うん。うせもの。おばちゃん。

1 はい。

2 これは、出てこないね。というか、うせものという相談だったかもしれないけど、そもそもおばちゃんのものじゃない。うせてない。

3 おお。

1 どこにあるか、

2 どこにあるわかってないね。わかってない。ううん。誰も別に、おばちゃんに隠してないから、やっぱりうせてもない。

1 おお。

2 探さなくてもいいんだけどなあ。

3 手に入れたいのかな。

1 そんな感じだったよ。

2 どうなったら満足なんだこの人は……。

1 見つけて、手に入れたらまずいの？

2 手には入らないな。ええと。

3 ややこしい。
2 そもそもカンチガイ。心配には及ばん。ぐずぐず抱えていないで、思い当たる人に聞いた方が早い。周りにはたくさんいる。

3 聞ける人が？

2 うん。

1 知らないのはおばさんだけとか、

2 おもいこみが、どんどん事を重大にしてるだけで。びっくりするぐらい何も無い。

3 青い鳥か。

2 ああ。

1 なるほど。うん。じゃあ、そんな感じでもったいつけて伝える。

2 うん。

1 うんうん。よし、じゃあ、次。

1、終わった封筒をカバンに引っ込める。

2、つぎの封筒に視線を移す。

2 これは大丈夫。

1 ああ。恋愛相談。

2 健全だ。全然問題ない。相手も問題ない。素直に言って吉。素直か……。

3 素直が難しいですね。

2 うん。まさにそれだ。本人の素直さが問題というか、時々問われることになる。用心は……。用心のつもりとか……。しばらくは疑っても自爆するから、疑うとか、そういうのは、相手をよく知ってから。それだけだな。相手の方からくるのかな。

3 告られる？

2 承諾しない方がよろしくない。

1 はい。

3 基本的に忠実にいくんですね。

- 1 基本ですか。お詳しいんですね。
- 3 うむ。おい。
- 1 (封筒を片付ける) ははは。
- 3 最後。
- 2 うん。

2、息を飲んで後ろに退く。

- 1 ちよ、
- 2 (あまり音にならない) あ、
- 3 大丈夫？
- 2 あぶないとかじゃない……。相談……。これはどんな相談？
- 1 うん。

2 あ、待って、言わないで。

- 1 お、
- 2 わかんない。警察に言った方がいいのかも……。

3 おだやかじゃない。

2 いや、そう思ってるんだ。警察に行った方がいいのかもって……。理由が……。

1 ん？

3 自首ってこと？

2 ううん。何もしていないというか、自分が悪くなる理由をがんばって作ってる……。どうなるんだろう。ううん……。

問。

2 うん。警察はダメ。思い通りだけど。

1 逮捕？

3 それはでも、

2 ようわからなんだが、おまえは悪者であったかと、警察は悪者だった事について、どんどん裏付けを固める。そこには、後付けも沢山ある。

3 ああ。

2 自分を責めることばかり考えているから、どこまでも膨れ上がる。

1 それがまずいのか。

2 どうかな。ううん。

1 「それは」まずいのか。

2 どっちなの。どっちだろう。警察に行くほうが満足だから、行ったらいいよって言ってあげる方がいいの？

1 苦しいかもしれないけど、自分を責めるなって方がいいね。

3 いいかも。

2 悪いことをしようと思って関わった人間はいない。

1 うん。それさえ大丈夫なら。警察は無し。

2 うん。苦しいかもだけど。そのうち、気持ちは折り合う……。きつと。

1 前向きな占い結果にしたらしいね。

2 うん。

1 よし。そうする。うん。

1、メモを閉じて、録音を停止。

封筒やメモ、録音の道具をカバンに戻す。

3 片付いたね。一瞬だ。

2 お礼しなきゃ。

1 行ってくるよ。

3 お礼ね。

2 あの。

1 いい。行ってくるから。また、考えよう。

2 うん。

1 うん。お疲れ様でした。(3に)明日の朝台本作るから、ちょっと見て。

3 うん。大丈夫。

2 お願いします。

問。

1 はらへった。

2 ね。

3 おにぎり食べたなら？

2 そうだね。

1 うん。ああ、

3 ん？

1 知ってた？私ら全員四緑木星でね。相性いいんだよ。ただ、お互い遠慮し合って、どうしようもない場合もある。

3 占い師っぽいね。

1 キャリア積んでるんで……。

3 そういう知識は普段役に立ててほしい。

2 そうだね。

1 ははは。甘いものじゃない？

2 難しい？

3 ん？

1 いや、甘み。

3 (少し笑う様な音) ……。

1 甘いものをたべて落ち着きたい。

2 おにぎり。

1 食べるよ。(3に)おやつは……。

3 修羅場に突入前にたいらげました。

1 しょうがない。アイス買ってくる。

3 いいね。

2 おにぎり。
1 食べよう。でも、アイスもたべよう。二人はすっかりリラックスした様子でおられるから。さっさと行ってくる。バニラでいいね。

3 うん。

2 コンビニ？

1 スーパー。四七〇ミリリットル。

3 ワンポイント。

1 ワンポイント。三個。

2 え、一人一個？

1 アイスで嫌になりたい。

2 え、

3 食べきれなかったら冷凍庫。

1 冷凍庫。

2 はい。

1 うん。さて、あと、エスプレッソが飲みたいです。

3 います。

2 コーヒーじゃない方がいいなあ。

1 好きなお茶にしたまえ。

3 あ、待った。私、三時間ぐらいしか寝てない。

1 ん？

3 エスプレッソ。

1 カフェインで眠れなくなる様な人間でした？

3 いえ。

1 ですよ。大量のアイスクリームと、

2 おにぎりは、

1 食べよう。エスプレッソだ。ちょっと落ち着きたい。

3 そうだね。豆ひくか。

3、立ち上がって、台所の方に向かう。

2も立ち上がり、

2 お茶。

1 よろしく。行ってきます。

2 いってらっしゃい。

3 (2と同じ様なタイミングで) いってらっしゃい。

1 玄関方向へ退場。

1を見送ったあと、2、3台所方向へ退場。
リビングから人が居なくなる。

おわり。